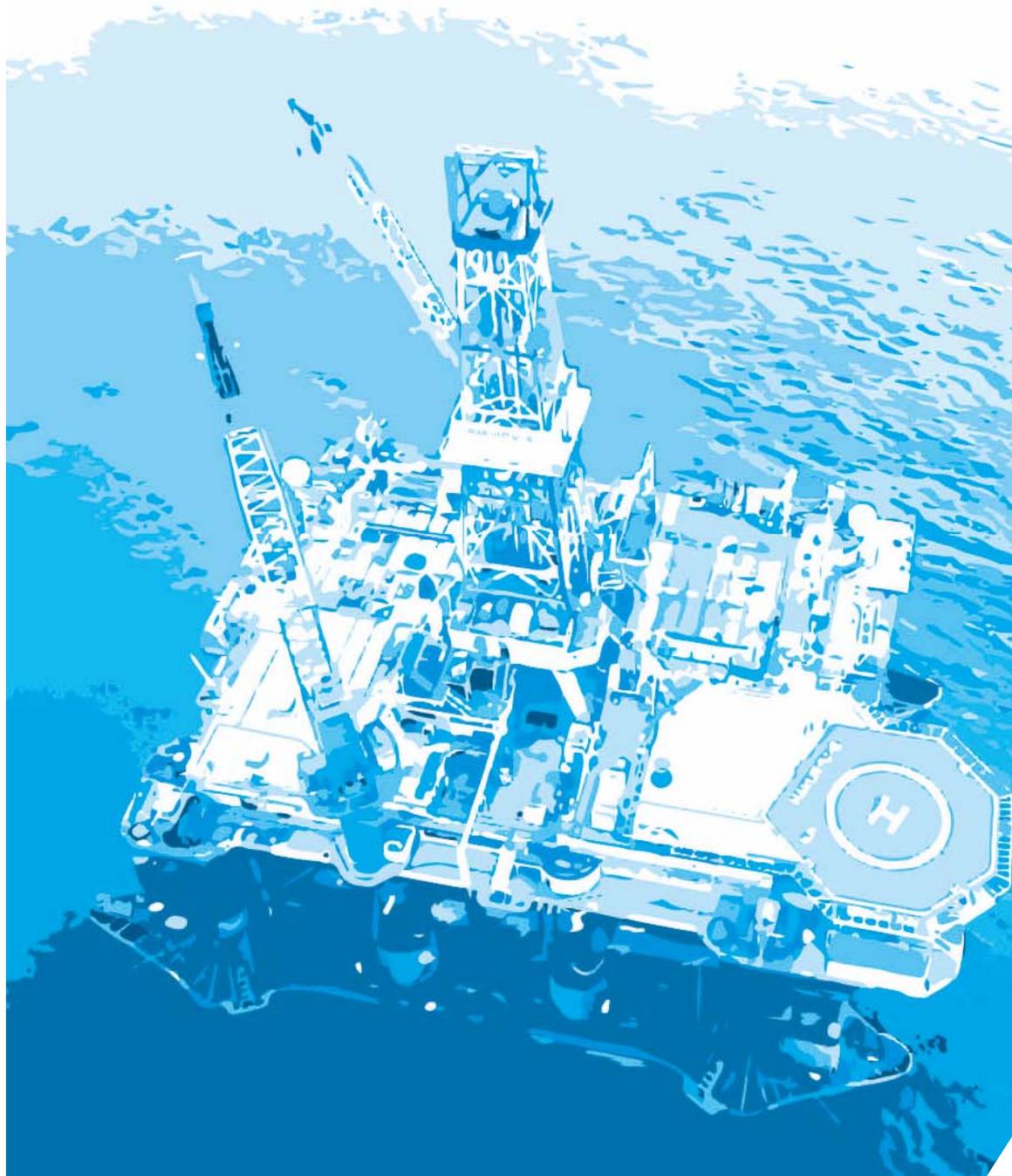


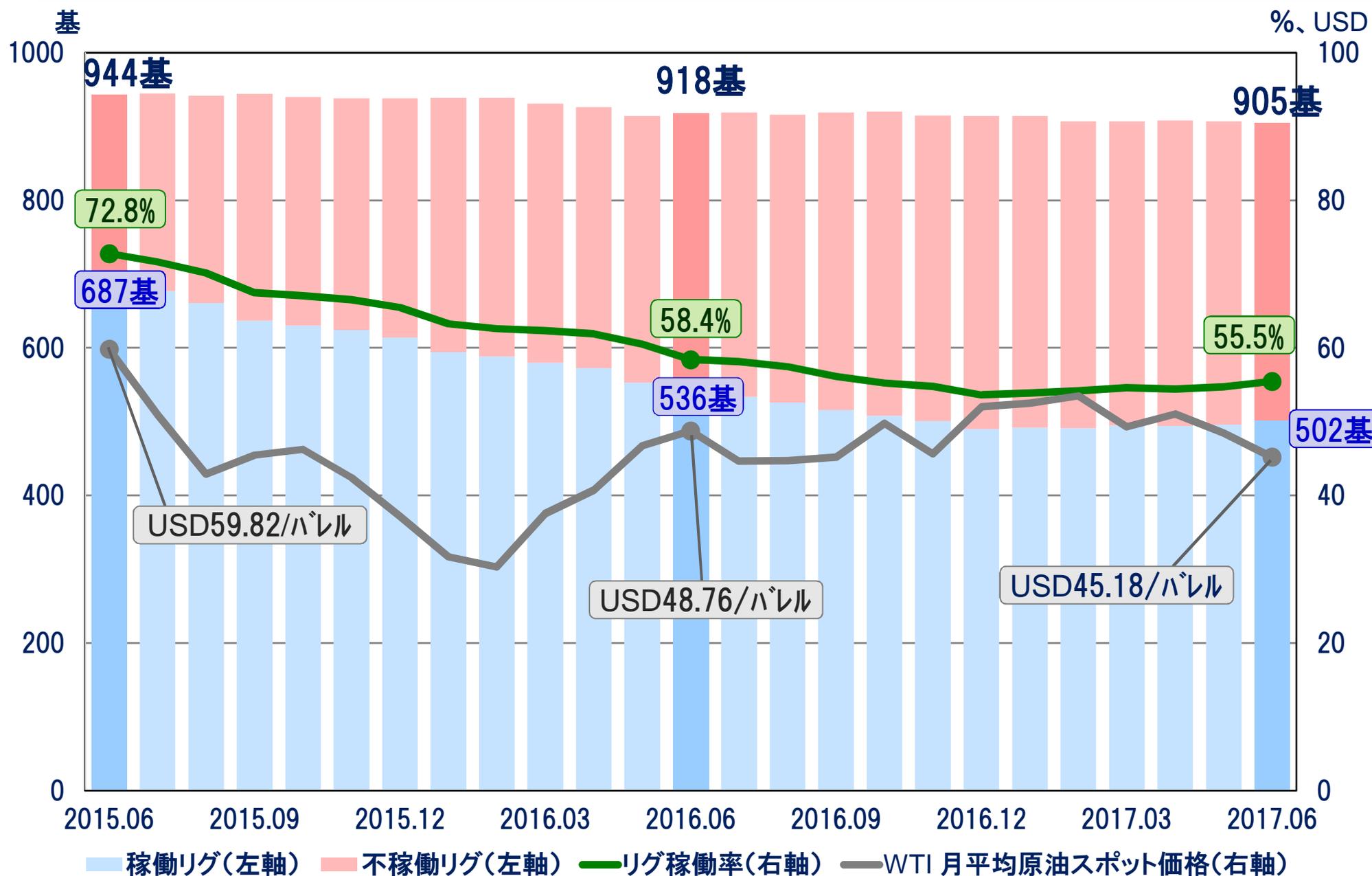
2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

2017年8月7日開示



1.マーケットレビュー

原油価格とリグ数・稼働率の推移



主要海域別リグ稼働状況

2017年6月時点

世界全体

↓ 905基(-13基)
 ↓ 502基(-34基)
 ↓ 55.5%(-2.9P)

北西ヨーロッパ

↑ 108基(+1基)
 ↓ 58基(-14基)
 ↓ 53.7%(-13.6P)

地中海・黒海

32基(0基)
 ↑ 18基(+1基)
 ↑ 56.3%(+3.2P)

メキシコ湾(米国側)

↓ 95基(-18基)
 ↓ 33基(-7基)
 ↓ 34.7%(-0.7P)

メキシコ湾(メキシコ側)

↑ 51基(+2基)
 ↓ 29基(-4基)
 ↓ 56.9%(-10.4P)

中東

↑ 179基(+13基)
 ↓ 118基(-4基)
 ↓ 65.9%(-7.6P)

極東

↑ 58基(+1基)
 43基(0基)
 ↓ 74.1%(-1.3P)

インド洋

↑ 50基(+4基)
 ↓ 40基(-4基)
 ↓ 80.0%(-15.7P)

東南アジア

↓ 109基(-3基)
 ↑ 60基(+13基)
 ↑ 55.0%(+13.0P)

南米

↓ 95基(-12基)
 ↓ 48基(-10基)
 ↓ 50.5%(-3.7P)

西アフリカ

↓ 70基(-3基)
 ↓ 29基(-4基)
 ↓ 41.4%(-3.8P)

その他(カスピ海等)

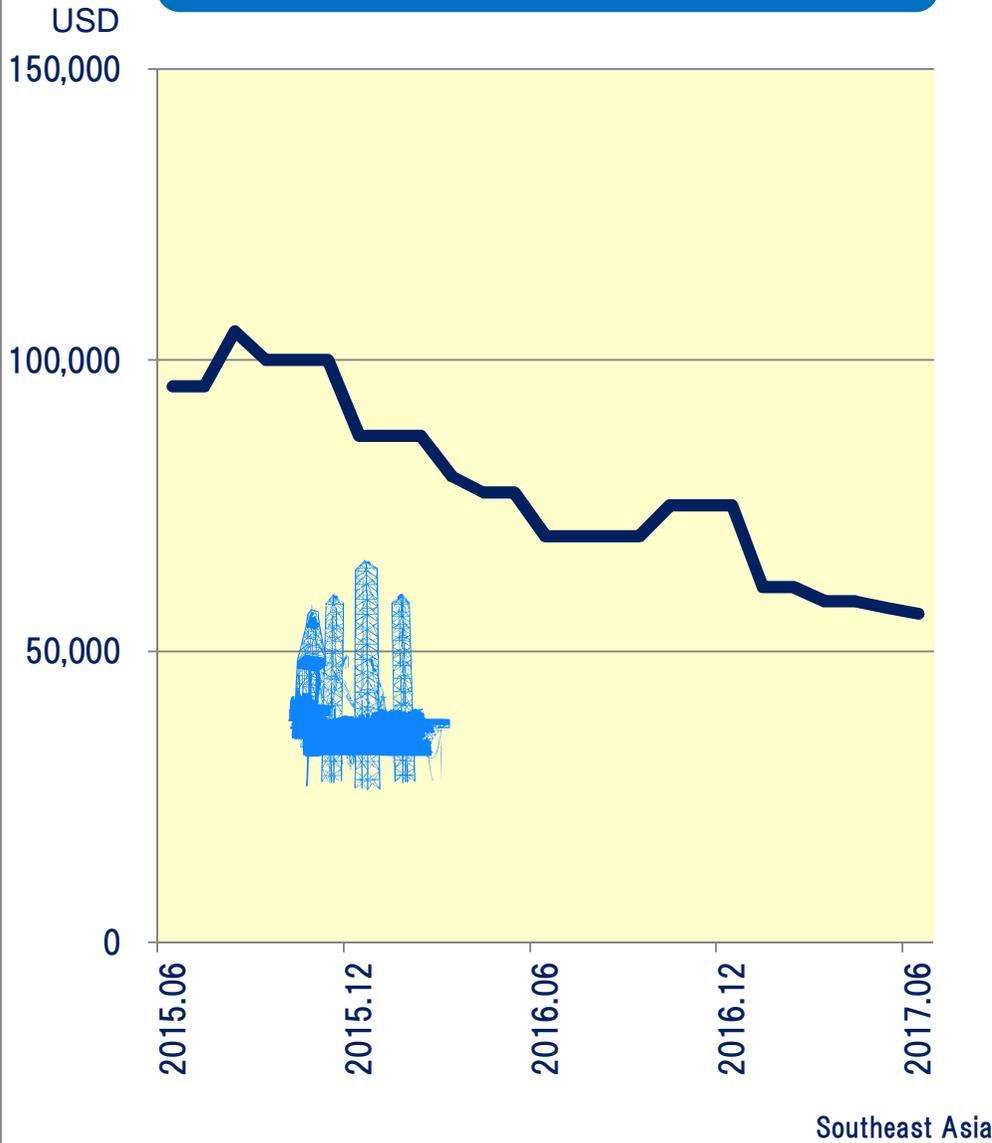
↑ 58基(+2基)
 ↓ 26基(-1基)
 ↓ 44.8%(-3.4P)

稼働海域

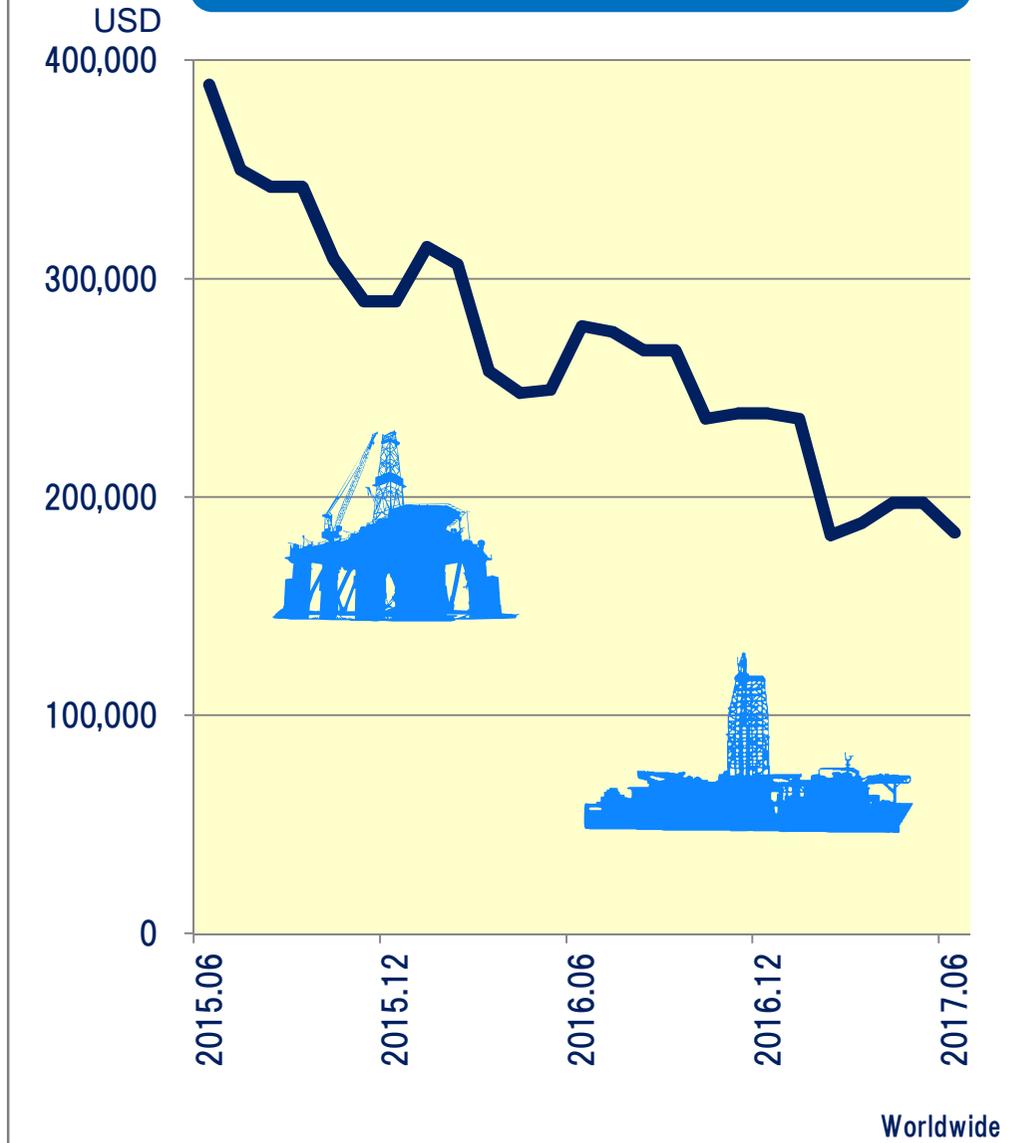
上段:総リグ数(前年同期比)
 中段:稼働リグ数(前年同期比)
 下段:リグ稼働率(前年同期比)

リグタイプ別ダイレートの推移

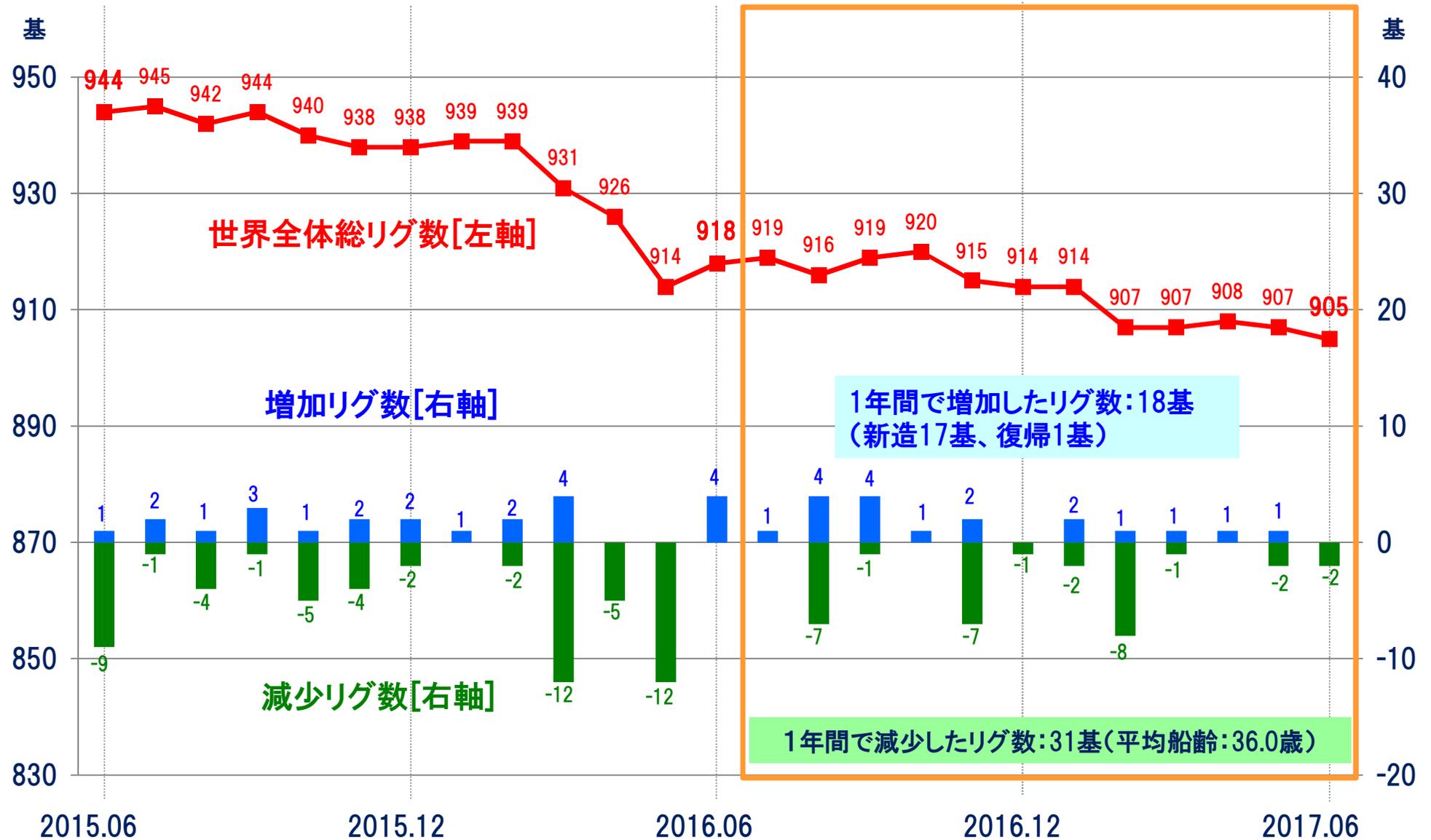
ジャッキアップ型リグ
(最大稼働水深360ft超)



フローター
(最大稼働水深7500ft超)

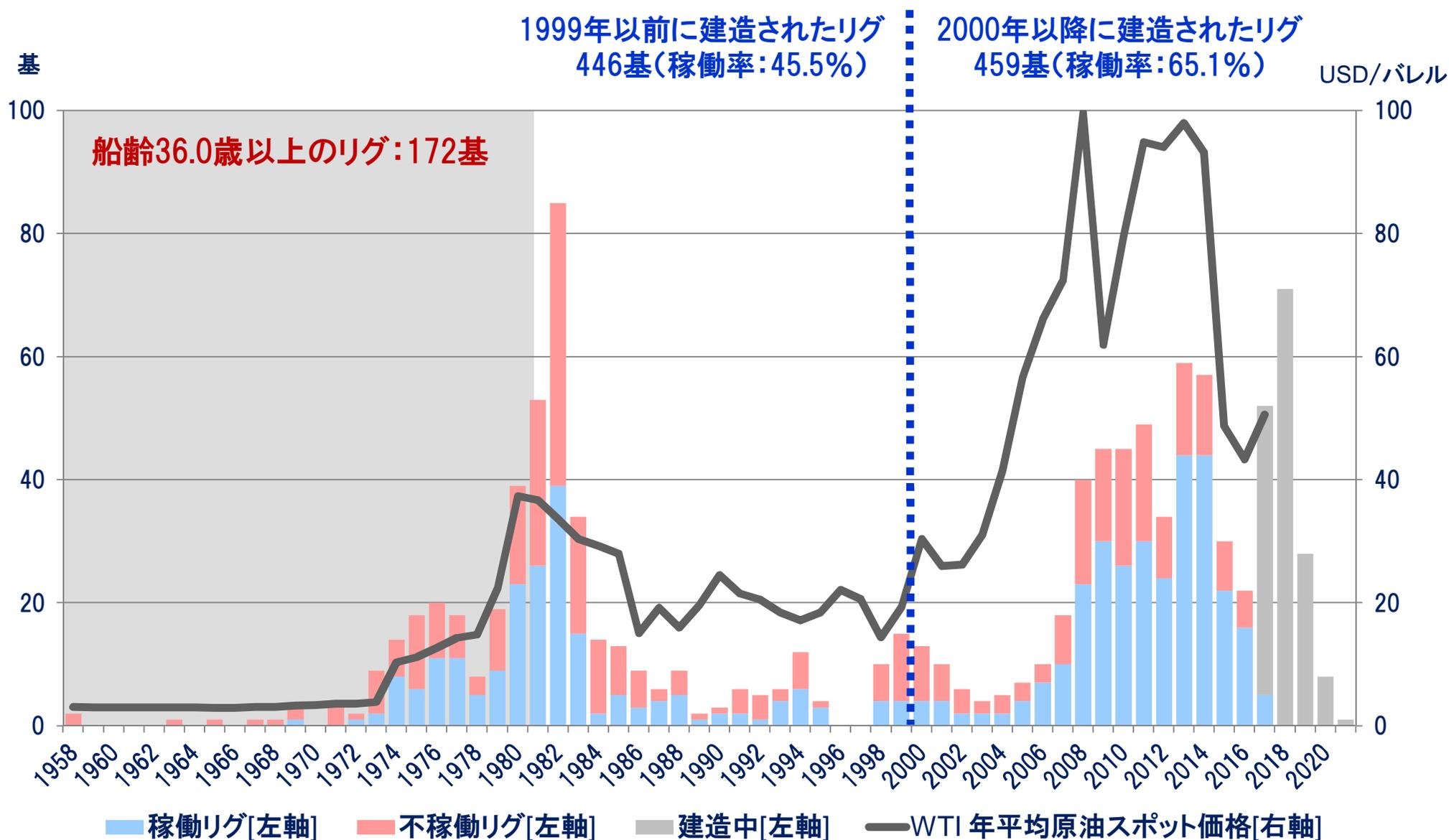


総リグ数とリグ数増減の推移



原油価格と建造リグ数の推移

2017年6月：総リグ数905基、建造中リグ数155基

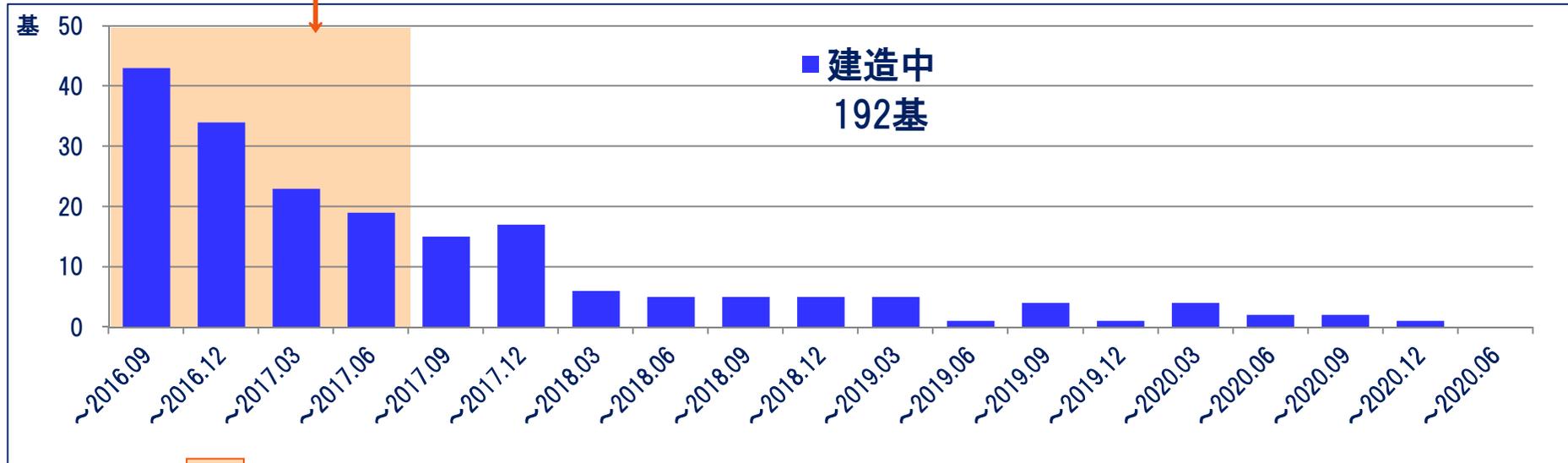


延期されるリグの完成引渡時期

建造中リグ(2016年6月時点)192基の完成引渡予定日の動向

2016年6月

2017年6月までに完成し、引き渡される予定であったリグ:118基



2017年6月

2017年6月までに完成し、引き渡されたリグ:17基



2. 決算概要

2018年3月期第1四半期

当社グループ運用リグの状況

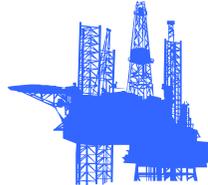
2017年6月30日時点

「SAGADRIL-1」



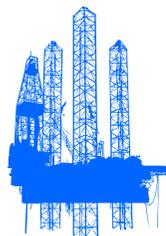
待機、保守・整備
[アラブ首長国連邦]

「SAGADRIL-2」



待機、保守・整備
[アラブ首長国連邦]

「HAKURYU-12」



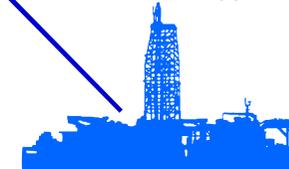
操業準備中
[アラブ首長国連邦]

「HAKURYU-5」



操業中
[ロシア サハリン沖]

「ちきゅう」
JAMSTEC所有



操業中
[愛知県・三重県沖]

「NAGA 1」



待機、保守・整備
[マレーシア]

「HAKURYU-14」
(仮称)



「HAKURYU-15」
(仮称)



シンガポールで建造中

「HAKURYU-10」



待機、保守・整備
[インドネシア]

「HAKURYU-11」



待機、保守・整備
[マレーシア]

リグフリート操業実績

2018年3月期		1Q		
		4	5	6
	HAKURYU-5		Gazpromneft社 ロシア	
	NAGA 1			
	SAGADRIL-1			
	SAGADRIL-2			
	HAKURYU-10			
	HAKURYU-11			
	HAKURYU-12			
	ちきゅう		JMH社 日本	

完工
 科学掘削
 待機、保守・整備

連結損益計算書(前年同期比)



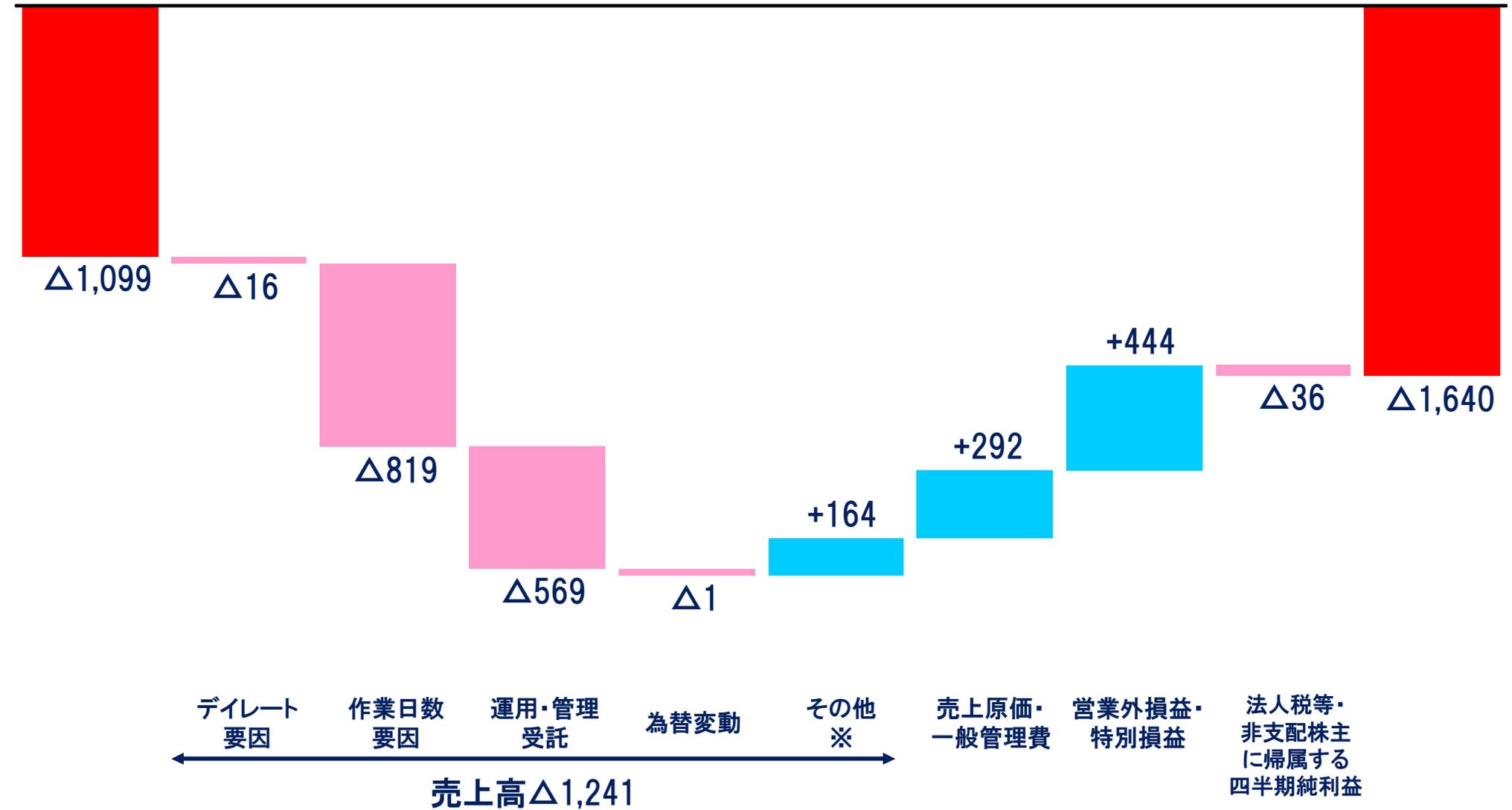
単位:百万円 (百万円未満切捨て)	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率	
売上高	5,721	4,479	△1,241	△21.7%	「HAKURYU-10」 : △1,265百万円 「HAKURYU-11」 : △878百万円 「NAGA 1」 : △335百万円 「ちきゅう」 : +1,251百万円
売上原価	5,226	4,882	△343	△6.6%	
販売費及び一般管理費	639	691	+51	+8.0%	「HAKURYU-11」 : △314百万円 「HAKURYU-10」 : △223百万円 「SAGADRIL-2」 : △139百万円 「NAGA 1」 : △117百万円 「ちきゅう」 : +522百万円
営業利益	△144	△1,093	△948	-	
営業外収益	68	87	+19	+29.0%	
営業外費用	654	226	△428	△65.4%	為替差損 : △402百万円
経常利益	△730	△1,232	△501	-	
特別利益	-	-	-	-	
特別損失	7	10	+3	+43.2%	
税金等調整前四半期純利益	△738	△1,243	△504	-	
法人税等	285	219	△66	△23.2%	
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	178	+102	+135.3%	
親会社株主に帰属する四半期純利益 ※	△1,099	△1,640	△540	-	期中平均為替レート 2017年3月期1Q:111.06円/USD 2018年3月期1Q:110.96円/USD
1株当たり四半期純利益(円)	△61.09	△91.12	△30.03	-	

※以下、本資料では「四半期純利益」と略します。

四半期純利益の増減分析(前年同期比)



単位:百万円



2017年3月期
第1四半期
四半期純利益

2018年3月期
第1四半期
四半期純利益

※売上高その他+164の要因
「HAKURYU-5」動員収入など

連結貸借対照表(前期末比)



単位:百万円 (百万円未満切捨て)	2017年 3月期末	2018年3月期 第1四半期末	増減	増減率	
流動資産	49,559	53,710	+4,151	+8.4%	営業未収入金 : +4,758百万円 未成工事支出金 : +1,260百万円 有価証券 : Δ2,000百万円
有形固定資産	29,121	28,709	Δ411	Δ1.4%	
無形固定資産	188	188	Δ0	Δ0.3%	
投資その他	1,351	1,319	Δ32	Δ2.4%	
資産合計	80,221	83,927	+3,706	+4.6%	
流動負債	17,290	22,957	+5,667	+32.8%	前受金 : +3,027百万円 未払費用 : +2,255百万円
固定負債	33,107	32,774	Δ332	Δ1.0%	長期借入金 : Δ193百万円 社債 : Δ148百万円
負債合計	50,397	55,732	+5,334	+10.6%	
純資産	29,823	28,195	Δ1,628	Δ5.5%	四半期純利益 : Δ1,640百万円
負債・純資産合計	80,221	83,927	+3,706	+4.6%	
自己資本比率	36.2%	32.6%	Δ3.6P	-	

サハリンで操業中の「HAKURYU-5」



(1) 契約先	Gazpromneft-Sakhalin LLC
(2) 操業海域	ロシア連邦 サハリン島北東部沖
(3) 作業坑数	1坑(約130日)
(4) 作業開始時期	2017年6月上旬
(5) 作業料金建て	日割作業料率方式

セミサブ型リグ「HAKURYU-5」
Photo from Gazprom Neft PJSC

「HAKURYU-5」は、4月下旬にベトナムのブンタウ沖からロシア連邦のサハリンⅢアヤシュスキー鉦区に向けて移動を開始し、6月上旬からロシア連邦のGazpromneft-Sakhalin LLCの掘削工事に従事。

「ちきゅう」による商業掘削



JAMSTEC所有の地球深部探査船「ちきゅう」は、4月上旬から愛知県・三重県沖において日本メタンハイドレート調査株式会社がオペレータとなる第2回メタンハイドレート海洋産出試験のための掘削作業に従事、7月上旬に終了。

(1) 契約先	日本メタンハイドレート調査株式会社
(2) 操業海域	愛知県・三重県沖(第二渥美海丘)
(3) 作業坑数	2坑
(4) 作業開始時期	2017年4月上旬
(5) 作業料金建て	日割作業料率方式

地球深部探査船「ちきゅう」
©JAMSTEC

3. 業績予想

2018年3月期

長期契約を締結した「HAKURYU-12」

ジャッキアップ型リグ「HAKURYU-12」



(1) 契約先	North Oil Company
(2) 操業海域	カタール国 アル・シャヒーン油田
(3) 作業期間	ファーム2年+オプション1年×2回
(4) 作業開始時期	2017年9月予定
(5) 作業料金建て	日割作業料率方式
(6) 契約締結日	2017年6月2日

リース方式により運用している「HAKURYU-12」は、カタール国のNorth Oil Companyによる同国のアル・シャヒーン油田での掘削工事に従事する契約を締結。ファーム2年、オプション1年×2回の長期契約。

リグフリート操業計画(前回発表:5月11日)



2018年3月期		1Q			2Q			3Q			4Q		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	HAKURYU-5				Gazpromneft社 ロシア								
	NAGA 1												
	SAGADRIL-1												
	SAGADRIL-2												
	HAKURYU-10												
	HAKURYU-11												
	HAKURYU-12												
	HAKURYU-14						建造中 シンガポール				慣熟訓練 操業準備		
 JAMSTEC所有	ちきゅう	JMH社 日本						JAMSTEC 日本					

契約済
 待機、保守・整備
 科学掘削
 受注活動中
 (顧客先の正式社名は巻末の略語集をご参照)

リグフリート操業計画(今回発表:8月7日)

2018年3月期		1Q			2Q			3Q			4Q		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	HAKURYU-5				Gazpromneft社 ロシア						東南アジア		
	NAGA 1												
	SAGADRIL-1												
	SAGADRIL-2												
	HAKURYU-10												
	HAKURYU-11										東南アジア		
	HAKURYU-12										NOC社 カタール		
	HAKURYU-14											慣熟訓練 操業準備	
	ちきゅう												

契約済
 待機、保守・整備
 科学掘削
 受注見込み
 受注活動中

斜線部分: 前回発表操業計画からの主な見直し箇所

(注) 契約期間中でも、整備工事等のためにリグの稼働を中断させることがあります

(顧客先の正式社名は巻末の略語集をご参照)

第2四半期連結累計期間

単位:百万円 (百万円未満切捨て)	5月11日発表	8月7日発表	増減	増減率
売上高	11,526	11,526	0	0.0%
営業利益	△3,182	△3,182	0	—
経常利益	△3,574	△3,574	0	—
四半期純利益	△4,262	△4,262	0	—

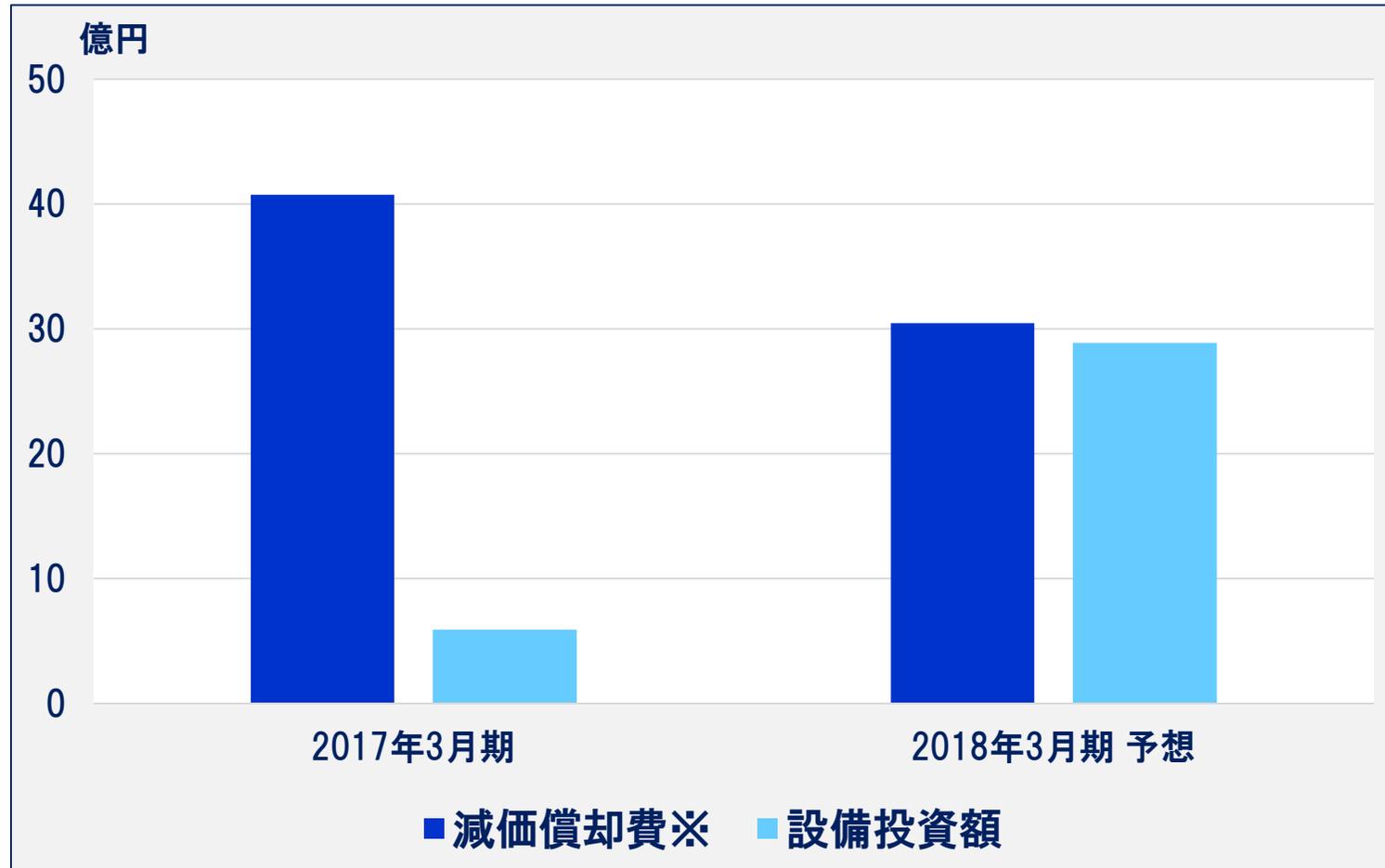
通期

単位:百万円 (百万円未満切捨て)	5月11日発表	8月7日発表	増減	増減率
売上高	21,385	21,385	0	0.0%
営業利益	△6,841	△6,841	0	—
経常利益	△7,555	△7,555	0	—
当期純利益	△8,592	△8,592	0	—

今般受注した「HAKURYU-12」の操業を第2四半期から予定しているが、5月11日発表の業績予想に織り込み済み

第2四半期以降の想定為替レートは110円/USD(前回から変更なし)

設備投資額は減価償却費の範囲内に



※2017年3月期に減損損失(109億4百万円)を計上したことにより、
2018年3月期以降の減価償却費は年間約10億円減少

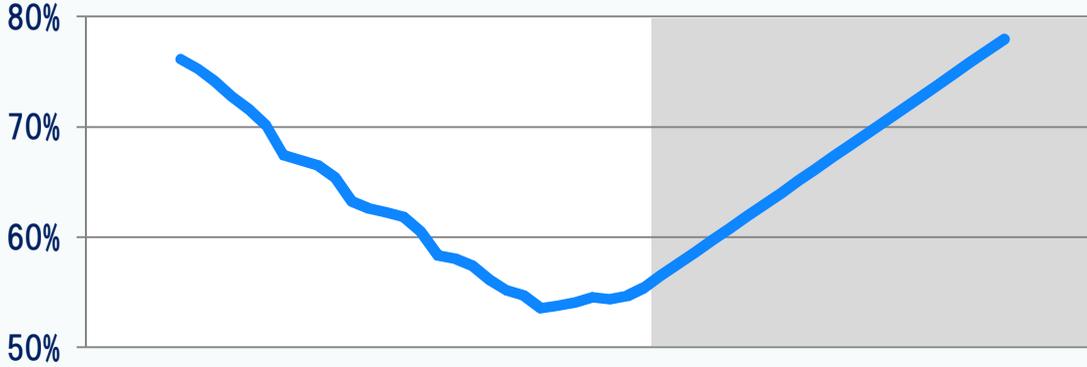
4.業績反転への道筋と経営戦略

市況回復の兆しと業績反転への道筋(1)

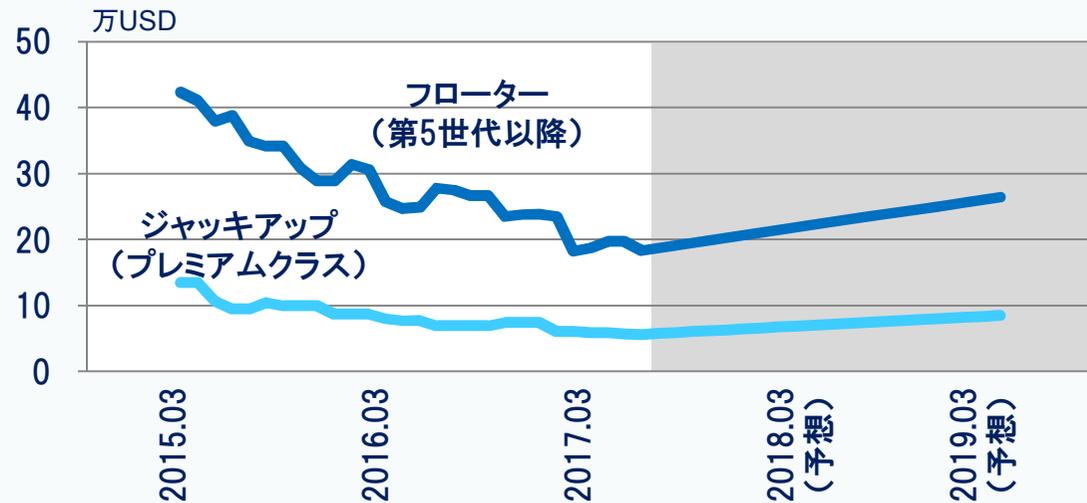
原油価格推移



リグ稼働率推移



デイレート推移

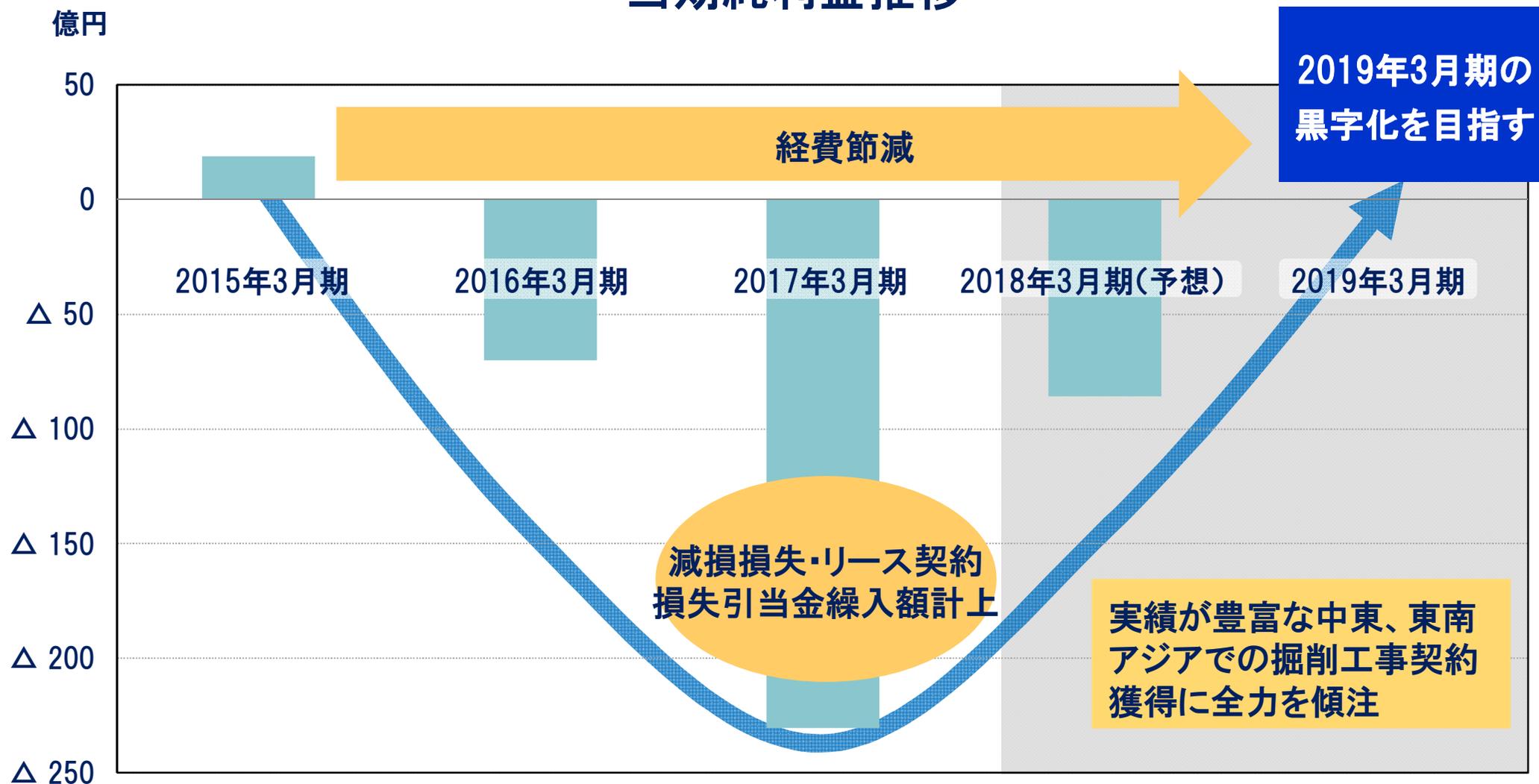


・「原油価格推移」については、2017年6月以前はWTI Spot Priceの月平均を使用し、2017年7月以降(網掛け部分)は2019年3月に60USDとなる前提で作成。

・「リグ稼働率推移」及び「デイレート推移」については、2017年6月以前はIHS-Petrodata資料から、2017年7月以降(網掛け部分)はMorgan Stanleyの7月資料に基づき作成。

市況回復の兆しと業績反転への道筋(2)

当期純利益推移



経営目標

- 事業環境変化への対応
- 安全操業体制の強化
- 将来に向けた成長機会の追求と経営資源の充実

経営戦略

◆ 受注確保への
全社的取組み

◆ 財務基盤の再構築

◆ 安全操業体制の強化

◆ 事業基盤を支える
人材の育成推進

◆ 成長機会の追求

◆ 海洋掘削技術の応用

Gazpromneft社…Gazpromneft-Sakhalin LLC

JAMSTEC…国立研究開発法人海洋研究開発機構

JMH社…日本メタンハイドレート調査株式会社

NOC社…North Oil Company

本資料ご利用にあたっての注意事項

本資料に記載されている業績見通しや事業環境等の将来に関する記述は、様々な要因により変更となる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

日本海洋掘削株式会社 広報・IR室 電話03-5847-5862